



問

認識の共有には自らの認識を示す
ことです

答
今、再稼働問題が進んでしまうの
はおかしい

無党派 相沢 一正 議員

議員 東海第二原発再稼働にかかる
意見の判断基準は、福島原発事故の
惨状をどうみるか、事故から何を学
ぶか、にある。その認識が共有され
なければ先に進めない。認識の共有
のためには村長自身の認識を明らか
にしなければならぬと思うが。

村長 村長としては村民の生命財産
を守るのが最優先だ。その視点に立
てば、事故は収束していかない、原因
も究明されないという段階で再稼働
問題がどんどん進んでしまうのはお
かしい。

汚染水問題など現実を見据えて、
さらに東海第二発電所の問題につい
て関係者がどこまで真剣にそこを見
ているのか、覚悟して皆さんそれを
進めているのか。そこは原電側とも
村民ともじっくり話したい。浮つい



福島の実況 常磐線富岡駅の様子 2012.3.31撮影

た気持ちでなくその本筋は外さ
ず、そこを押さえた上で、多分いろ
いろな懸念を持つている人たち、そ
こに対して一緒に考えていきたく
い。まずは村民の安心安全を忘れず
にやっていきたいと思う。

問

原発再稼働問題、山田村長の覚悟
を伺う

答
村民3万8千人の安全・安心を守
り抜く決意

光風会 恵利 いつ 議員



議員 福島第一原発問題は、先の見
通せない状況である。国や東電の対
応をどのように見ているか。

村長 東電は汚染水処理で精一杯で
後手後手の対応となっている。原子
力を国策として推進してきた国の責
任でもあり、やっと国が動いたと思
う。国が前面に出て解決することを
約束したことが重要と考える。

議員 東海第二の再稼働問題におい
て判断のポイントを伺う。

村長 ①住民と議論を重ねていく②
周辺市町とともに原子力安全協定の
見直し③広域避難計画の策定④国の
方針。これらを明らかにし判断する。
議員 一刻を争う判断を迫られたと
き、「現場感覚で判断する」覚悟は。
村長 村民のために働くという気持
ちは副村長の時から変わっていない



決意を述べる山田村長

い。県に帰るといいう退路を断ち村長
となつた今、最後まで村民の安全・
安心を守り抜く決意でいる。
議員 東海第二再稼働の判断の前に
フクシマの視察をしてはどうか。
村長 被災地の現状を確認し、地元
の首長とも意見交換したいと考えて
いる。